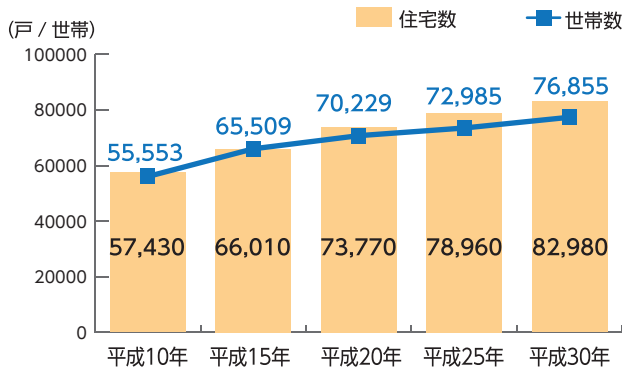




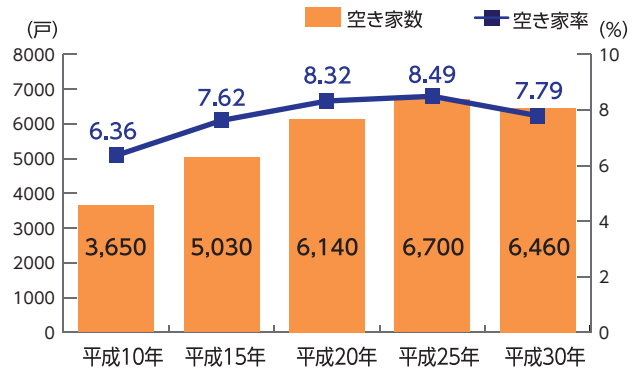
住宅

平成10年からの20年間で、緑区の住宅数は約1.4倍に増えていますが、また、空き家数は約1.8倍に増加し、住宅全体の約8%を占めています。

住宅数の推移



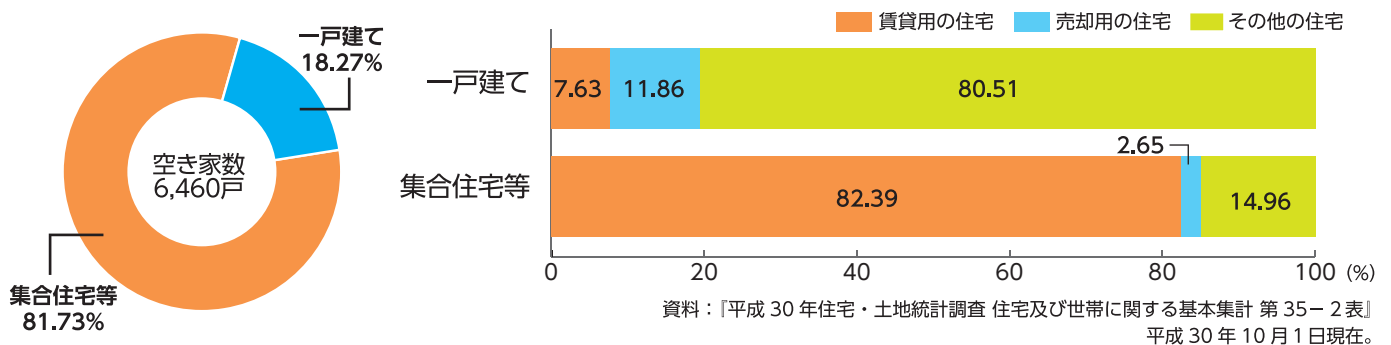
空き家数の推移



資料：(住宅数)『横浜市統計書10章16表』 (世帯数)『横浜市人口ニュース』
住宅数は各年の住宅・土地統計調査結果(10月1日現在)。世帯数は各年の10月1日現在の推計値。

空き家の発生状況

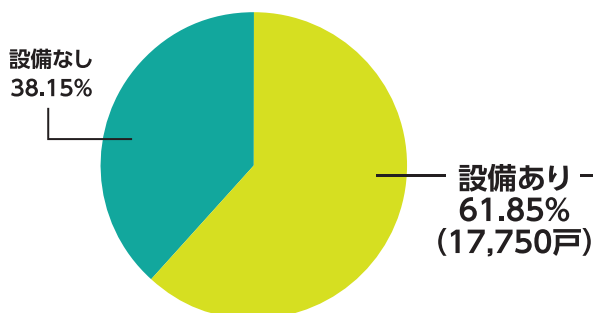
緑区の空き家のおよそ8割は集合住宅等ですが、「賃貸用・売却用以外の空き家」の割合は、一戸建てが集合住宅等の5倍を上回っています。



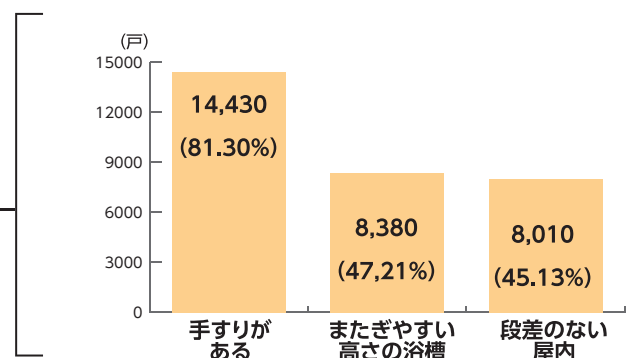
高齢者等のための設備状況

緑区では、65歳以上の方が居住する住宅の約6割で、手すりや段差の緩和・解消など、高齢者等のための設備が設置されています。

65歳以上の方が居住する住宅における高齢者等のための設備状況



高齢者等のための主な設備



資料：『平成30年住宅・土地統計調査 住宅の構造等に関する集計 第231-4表』
平成30年10月1日現在。店舗等の併用住宅を除く。